



2020年12月23日

JR東日本 仙台支社

安心して駅や列車をご利用いただくための取組みについて

JR東日本仙台支社では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に継続的に取り組んでおります。

このたび、その取組みの一環として、仙台支社管内の主な新幹線停車駅において「除菌ウェットティッシュ」を提供いたします。

1 新幹線改札口内での「除菌ウェットティッシュ」の提供

(1) 提供期間

2020年12月26日(土)～2021年1月3日(日) 9日間

2021年1月9日(土)～2021年1月11日(月) 3日間

※各日とも予定数(郡山・福島・山形駅は1,000個、仙台駅は2,000個)に達し次第、終了となります。

(2) 提供場所

郡山駅、福島駅、仙台駅、山形駅の新幹線改札口内

(3) 提供方法

「除菌ウェットティッシュ」は、新幹線改札口内のブースに用意いたします。



設置ブース(イメージ)



除菌ウェットティッシュ(イメージ)

2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて継続している取組み

(1) 駅での取組み

- ①アルコール消毒液の設置
- ②駅社員のマスク着用
- ③定期的な清掃に加えて消毒液等による除菌を実施
- ④飛沫拡散防止シートの設置
- ⑤駅におけるソーシャルディスタンスの確保



駅社員によるアルコール除菌



飛沫拡散防止シートの設置

(2) 列車に関する取組み

①車両の消毒清掃

仙台支社管内の全列車について、定期的な清掃の中で消毒液等による除菌を実施しております。

また、乗務員などが折り返し駅等で列車内に乗り込んで除菌を実施しております。



乗務員による消毒清掃

②車内換気の強化

・空調装置により、車内の空気は5～7分程度で入れ替わります。

・駅停車中にドアを自動で開け、空気の入れ替えを行っています。

(一部列車を除く)

・窓を5～10cm開けて走行することで、車内の空気が6～8分程度で入れ替わります。これらの換気を組み合わせることで、車内の空気は概ね2～3分に1回入れ替わります。

③乗務員の「お客さま用マスク」「アルコール消毒液」の携帯

④車内トイレに除菌スプレーを設置

⑤車内におけるソーシャルディスタンスの確保

・指定席券売機を設置している各駅では、指定席券売機で指定席券をお求めの際に、シートマップ(座席表)からお選びいただけることをお知らせする案内掲示を行っております。

・みどりの窓口で指定席券を発売する際には、他のお客さまとの間隔を空けて発売する取組みを行っております。

※空席は発売時点での状況となるため、ご乗車の際には他のお客さまが近くにお座りになる場合がございます。



車内の「ドアボタン」の消毒清掃

(3) その他の取組み

①駅や車内での感染予防の放送

・駅や車内での放送案内において、ホーム上を含めた駅構内・車内でのマスク着用の実施、会話は控えめにさせていただくこと、新幹線車内では向かい合わせでの座席の使用はご遠慮いただくことへのご協力をお願いしております。

また、車内の混雑緩和のため、テレワークやオフピーク通勤等へのご協力をお願いしております。



指定席券売機の案内ポスター

②感染予防ポスター等による呼びかけ

- ・仙台支社管内の106駅で感染拡大防止のポスターを掲出しています。
- ・社員が手作りポスターを作成し、駅の待合室などに掲出しています。
- ・主な新幹線停車駅でデジタルサイネージにより、感染防止の動画を流しています。



感染予防のポスター



手作りポスター



駅のデジタルサイネージ